

午前の部(10:00-12:10)

※報告内容は、著者下段のページ参照

Room	6201 (司会) 谷口洋幸	個人報告 (10:00-11:00)	加藤 慶 (p.)	大都市圏におけるセクシュアルマイノリティの若者の「生きづらさ」とは —2008年「日英LGBTユースエクステンジプロジェクト」の事例から
			ひびのまこと (p.)	クィア・コミュニティ内部にある権力・差別・暴力を隠蔽せずに「みんな」の運動と空間を作るために必要なことは何か
		個人報告 (11:10-12:10)	佐藤美和 (p.)	同性婚をめぐる議論の再考—承認論の視点から
			高原幸子 (p.)	制度が横断する主体性
Room	6202 (司会) 清水晶子	個人報告 (10:00-11:00)	テレサ・アルゴン (p.)	『半男女考』 —大正時代の両性の接近に対する不安感と半陰陽をめぐる言説
			黄綿 史 (p.)	大正期の性科学書における「同性愛」問題化の位相 —他の「変態性欲」との比較から
		個人報告 (11:10-12:10)	黒岩裕市 (p.)	「一種異様の人種」とセクシュアリティの表象 —江戸川乱歩『一寸法師』を中心に
			菅野優香 (p.)	クィアな時間、原節子
Room	6204 (司会) 堀江有里	個人報告 (10:00-11:00)	野田恵子 (p.)	「猥褻」と性愛のあいだ —20世紀転換期イギリスにおける女同士の親密な関係をめぐり—考察
			吉野 靱 (p.)	性同一性障害「正規医療」におけるQOL向上を検討する(仮)
		個人報告 (11:10-12:10)	ローラン・エリック (p.)	日本における性人類学のフィールド・ワークでの“性的参与” — 男性同性愛学的な研究の例
			菅沼 勝彦 (p.)	薔薇と咲いたハイブリッドな白人性 — 1970年代『薔薇族』にみるコロニアルな人種言説の攪乱

午後の部(13:10-15:20)

Room	6201 (司会) 風間孝	個人報告 (13:10-14:10)	小澤かおる (p.)	情報アクセスに関する、女性性的少数者の事情と条件
			フレイザー真実 (p.)	同性愛に対する偏見の規定因分析
		個人報告 (14:20-15:20)	岩川大祐 (p.)	アビューズの人類学—「男性」への性的暴力の表象をめぐって
			齋藤征子 (p.)	政治学における「市民」像のもつ構造的差別と再生産労働の位置付け
Room	6202 (司会) 菅沼勝彦	個人報告 (13:10-14:10)	眞野 豊 (p.)	内面化した同性愛嫌悪をめぐるポリティクス —広島・北海道を中心としたゲイのライフストーリーから
			森山至貴 (p.)	ゲイ男性とゲイコミュニティのねじれた関係 —「こっちの世界」という言葉に関するインタビューから
		個人報告 (14:20-15:20)	トッド・ヘンリー (p.)	占領期東京における「男娼」の主体性 —メディア監視と性的解放の間に
			石田 仁 (p.)	タチ／ネコの記号史
Room	6204 (司会) クレア・マリイ	個人報告 (13:10-14:10)	溝口彰子 (p.)	「こころのチンコ」論 あるいは、レズビアン・フェミニスト・ジャンルとしてのヤオイ
			相田美穂 (p.)	腐女子のセクシュアリティは虚構か? —メディアにおける言説を通じて
		個人報告 (14:20-15:20)	光本 順 (p.)	可能性としてのクィア考古学
			川坂和義 (p.)	<主体>への回帰?
Room	6203 (担当) 釜野さおり	パネル報告 (13:10-15:20)	加藤 慶(司会) 長谷川博史 たいへい 江草 (p.)	非大都市圏におけるMSMへのHIV予防の対応と課題